

あなたも認知症サポーターになりませんか？

地域、企業、学校などを対象に認知症サポーター養成講座を行っています。
希望があれば、出向いて講座を開催します。



【認知症サポーターとは】

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。特別なことをする人ではなく、自分にできる範囲で声かけなどの支援をお願いしています。

【内容】

- ・ 認知症の基本的な知識
- ・ 認知症の人との接し方
- ・ グループワーク など、60分程度

☆受講者にはオレンジリングかバッジをお渡しします☆

～受講者からはこんな声が届いています～

驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけないといったことに注意して、地域で認知症の人を見守っていきたいです。



知らなかったことが多く勉強になりました。認知症の人を見かけたら、優しく丁寧に接したいです。まずは、自分たちがならないように予防をしないと！

認知症キャラバン事業・サポーター養成講座についての問合せ先
いきいき広場内保健福祉グループ ☎ 52-9871

コラム

認知症とこれから

今月のテーマ
「認知症とライフスタイル」

アルツハイマー型認知症の研究に"ナンスタディ"があります。この"ナン(Nun)"というのは修道女のこと、アメリカ・ミネソタ州のノートルダム教育修道女会に属す修道女を対象に追跡調査が行われています。1986年に始まったこの研究は、その人たちの生活状況を把握し、毎年認知機能検査を行ないます。ほとんどの対象者を死亡するまで追跡し、死後すべての対象者が研究のために脳の提供を認めています。

修道女のなかには、100歳を超えて脳に高度なアルツハイマー病変が出現していても認知症を発症せずに暮らした人もいと報告されています。脳の状態は明らかなアルツハイマー型認知症だったにもかかわらず、生前は認知症に気づかれていない、生活に支障がなかったということです。

修道女たちは、長く同じ環境で生活します。規則正しい生活、役割を持ち、精神的に満たされた状態で、周囲は同じ聖職者ですから優しく接してくれるでしょう。もし病変があっても症状を強めたり、生活に支障がおきるほどの混乱をきたさないのかもしれないかもしれません。できるかぎり慣れた環境で、周囲のサポートを受けてよいライフスタイルを維持することが、認知症予防・ケアには必要です。

認知症についての相談
はこちらへ

いきいき広場内福祉まるごと相談グループ ☎ 52-9610
認知症介護相談(認知症の人と家族の会)平日(月～金)午前10時～午後4時 ☎ 0562-31-1911